

### ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご支援、ご高配を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。  
ここに、2019年度（第95期）における  
当社グループの事業の概況等をご報告申し上げます。

# 第95期 ビジネスレポート

2020年6月

2019年4月1日～2020年3月31日

代表取締役社長

錦織弘信

### 事業の概況

当連結会計年度の世界経済は、2019年12月頃までは、米国では景気は堅調に推移し、欧州及びアジアでは総じて景気は緩やかに減速し、日本では景気は緩やかな回復基調が続いていましたが、2020年1月以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響が实体经济にまで広がり、世界経済は、急激に悪化して想定を超えた未曾有の難局を迎えるに至りました。

このような状況下で、当社は、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、生産拠点の一時閉鎖を含む様々な対策を講じ、新型コロナウイルスによる影響を最小化するために最大限努めてまいりました。

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響などによる海外市場向けPOSシステムの減少及び海外市場向け複合機の減少や、為替による悪化影響はありましたが、国内市場向けPOSシステムが増加したことなどから、4,837億99百万円（前連結会計年度比2%増）となりました。また損益につきましては、国内市場向けPOSシステムが大幅増益となったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより海外市場向けPOSシステム及び海外市場向け複合機の損益が悪化したこと、新興国通貨と米ドルとの間で為替差損が発生したこと、繰延税金資産の一部を取り崩したことなどから、営業利益は139億77百万円（前連結会計年度比22%減）、経常利益は115億59百万円（前連結会計年度比30%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は37億30百万円（前連結会計年度比67%減）となりました。



### 通期の見通し

今後の世界経済は、各国における経済対策の効果などが期待されるものの、新型コロナウイルス感染拡大の实体经济への影響が一段と顕在化・深刻化し、当面の間、先行きを見通すことができない未曾有の難局が続くものと予想されます。

当社グループは、このようなリスクによる経営への影響を低減するため、徹底した間接経費削減や業務効率化による固定費削減、製造原価改善などのコスト削減施策とともに、消費動向や顧客動向を踏まえた売上回復のための各種施策を実施いたします。

2020年度の連結業績予想は、上記方針等をふまえたのとおり見込んでおります。

### 2019年度の連結業績

2019年度		2020年度 通期の予想
売上高	4,838億円	4,100億円
営業利益	140億円	100億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	37億円	5億円

### 連結業績ハイライト

売上高

営業利益

親会社株主に帰属する  
当期純利益

自己資本／総資産

■自己資本 ■総資産



### セグメント別グラフ

(単位：億円)

- プリンティングソリューション
- リテールソリューション



## 東芝テックカレンダー 2019-2020

下期のトピックス 月の区分は原則としてトピックスの発表月です。

**10月** **飲食店向け  
テーブル決済システムの発売**



セルフオーダー端末「Relax Order」に決済用二次元コードを表示し、お客様のスマートフォンのカメラでコードを読み取り、WEBサイトで支払いが完了できるテーブル決済システムです。利用金額(お支払い金額)は自動的に反映されるため、店舗スタッフと対面で確認しながらの金額入力の必要なく、支払いを完了することができます。



**1月** **ニュージーランドのIMAGR (イマジャー) 社へ出資**



小売店向けのAIカートシステムの開発を手掛けるIMAGR Holdings Limitedへ5.0百万米ドルの出資を実施しました。IMAGR社はコンピュータビジョン・AIテクノロジーをコアとして、消費者がバスケットに入れた商品をその場で画像認識するAIカートシステムを開発・提供しているベンチャー企業です。当社は省人化対応ソリューションへの強化を図っており、IMAGR社と当社のリソースを組み合わせることで新たなシナジーを創出し、リテールソリューション事業のソリューション強化を目指します。



**10月  
OCT**

「東芝テック  
アクセラレータープログラム2019」  
参加応募受付開始

コンパクトな筐体に、  
4つの機能を搭載したモノクロ複合機  
e-STUDIO2329Aを発売

**11月  
NOV**

中期経営計画(2019~2021年度)

スマートフォンを活用したレジ業務省人化と  
お客様の利便性向上の実証実験

「スマートレシート」がパルコ公式アプリ「POCKET PARCO」で  
採用

画像認識型無人レジシステムの学習自動化に向けた実証実験

2019

**10月**

**11月**

**12月**

### トピックス

## MFPの統合管理ツール 「Log Collection System」の発売

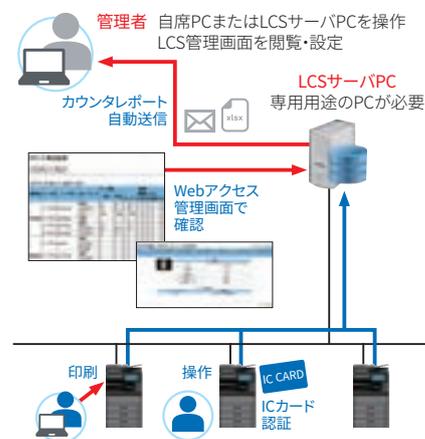
Log Collection Systemは、ネットワーク上の複数の東芝テック複合機から認証・出力・送信に関する利用ログを収集するシステムです。

収集したログを集計する機能を備えていますので、管理者は複合機の利用状況をユーザ単位、グループ単位、デバイス単位で簡単に集計しレポートを作成することができます。

さらに本システムにより個人の利用履歴の追跡も可能ですので、システム導入により社内の紙文書に対するセキュリティの向上が図れます。

全拠点・全部門・全ユーザ計	部門別	拠点別・部門別
<p>複数台のMFPをトータルした 全社での利用量が分かります</p>	<p>部門別課金の元データに 使えます</p>	
<p>拠点別</p> <p>拠点別も 分かります</p>		

### LCS概要



利用都度LCSサーバPCにJOBログを送信します。認証モードが前提です。ICカード認証利用時はカードリーダーが必要ですがLCS利用のためのオプションはありません。

## 1月 ポータブルプリンタ「B-FP2Dシリーズ」の発売

B-FP2Dシリーズは小売業でのレシート発行や、値引きラベルをはじめ、製造・物流業でのピッキングラベルや仕分けラベルの発行が可能なポータブルプリンタです。

B-FP2Dシリーズは、「B-EP2Dシリーズ」の後継機種で、最大印字速度を1.5倍向上させました。無線LANでは、新たに5GHz帯に対応し、接続性を強化しました。またカラー液晶表示を採用するなど視認性を向上させました。その他、充電方式としてスマートフォンやタブレット等で採用されているUSB Type-Cからの充電も可能となりました。



## 2月 スマートフォンを活用したセルフレジ「ピピットスマホ」の発売

ピピットスマホは人手不足によるチェックアウト業務にかかる人手の減少など、流通小売業が直面する課題解決に加えて、消費者自身のスマートフォンを利用する新しい購買体験を実現する商品です。

消費者は、自身のスマートフォンへあらかじめダウンロードした専用アプリ(ピピットスマホ)を起動し、店舗のQRコードを読み取り(チェックイン)後、店内で買い物をしながら商品の登録、会計を自身で済ませることができ、レジ待ちの無い快適な買い物ができます。

また、会計機を使用せず、スマートフォンアプリ上で決済を完結できる、スマホ決済(クレジット決済)も装備し、スルーチェックアウトを実現します。



12月 株式会社VRCへ出資  
DEC 「東芝テックアクセラレータープログラム2019」参加企業6社の採択が決定し、プログラムがスタート

2月 データサービス事業の強化  
FEB 画像認識スキャナによる専用イートインシール読み取り対応  
スーパーマーケット・トレードショー2020及び特別企画展「Future Store “NOW”」へ出展  
小型ラベルプリンタ「KP-30シリーズ」の発売

3月 業務用タブレット「TBL-300シリーズ」の発売  
MAR

2020

1月

2月

3月



### 新社長紹介

### 変化を好機と捉え、さらなる成長を目指す

このたび代表取締役社長に就任いたしました錦織弘信でございます。株主の皆様のご期待に沿うため、全力で職務にあたる所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

当社は今年で創立70周年を迎えました。近年はキャッシュレス化やペーパーレス化が進み、データ社会へのシフトが加速しております。このような事業環境の中でさらなる成長を実現するためには、小売、サプライチェーンなどさまざまなビジネスの現場にある「データ」を収集し価値のあるデータへ変換して、お客様の課題に対するソリューションとして提供することが必要です。またこのようなソリューションを実現するために、優れた技術を持った企業との協業を積極的に取組んでいきたいと考えております。

また「データ」は社会の課題解決にも貢献できると思います。お客様の課題解決を通じて、SDGsへの貢献も視野に入れたソリューション提供に力を注いでいきたいと思っています。

変化のうねりを好機と捉え、株主の皆様のご期待に応えるべく全社一丸となって取り組んでまいります。今後もご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



# 会社概要

## 会社概況 (2020年3月31日現在)

商号	東芝テック株式会社 Toshiba Tec Corporation
設立	1950年2月21日
本店所在地	東京都品川区大崎1-11-1 (ゲートシティ大崎ウエストタワー)
連結子会社	国内：8社／海外：70社
資本金	39,970百万円
従業員数	連結：20,014名／単独：3,743名
発行済株式総数	57,629,140株
自己株式数	2,642,915株
株主数	8,627名

## 役員状況 (2020年6月26日現在)

### 取締役及び監査役

代表取締役社長	錦織 弘信 (社長執行役員)
取締役	内山 昌巳 (専務執行役員) 井上 幸夫 (常務執行役員) 山田 雅広 (常務執行役員) 金田 仁 (常務執行役員) 山口 直大 (執行役員) 武井 純一 (執行役員) 加茂 正治 桑原 道夫 *1 長瀬 眞 *1 森下 洋司 *1 青木 美保 *1
監査役	佐藤 吉成 [常勤] 富沢 幸樹 [常勤] 奥宮 京子 *2 梅葉 芳弘 *2

### 執行役員 (取締役兼務者を除く)

執行役員	日吉 武司 江口 健 古山 浩之 河野 英治 小山 幸男 鈴木 淳史 平等 弘二 大西 泰樹 田中 康己 嶋崎 裕之
------	---

\*1 東京証券取引所の定める独立社外取締役であります。

\*2 東京証券取引所の定める独立社外監査役であります。

## 株式事務についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会関係／3月31日 期末配当関係／3月31日 中間配当関係／9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行(株)の本店及び全国各支店で行っております。

### 注記

- 記載金額は、原則として億円単位は表示単位未満を四捨五入、百万円単位は表示単位未満を切り捨てて表示しております。
- 事業別売上高は、事業間の売上消去前にて表示しております。
- 業績予想については、2020年5月26日に公表した内容を記載しております。これは、当社が公表日現在入手していた情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。



## 東芝テック株式会社

当社WEBサイトにて株主様、投資家の皆様向けの情報をご覧いただけます。



### 投資家情報 (IR)

株価、株式情報、財務・業績、IR資料等の情報をご紹介します。

### 社会・環境活動 (CSR)

環境、社会貢献活動などのCSR活動をご紹介します。また、CSR報告書等も掲載しています。

<https://www.toshibatec.co.jp/>